

平成 26 年度 新学術領域研究（研究領域提案型）審査結果の所見

研究領域名	医用画像に基づく計算解剖学の多元化と高度知能化診断・治療への展開
領域代表者	橋爪 誠（九州大学・医学研究院・教授）
研究期間	平成 26 年度～平成 30 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、医工連携を軸として推進した特定領域研究と新学術領域研究で得た成果をベースにし、CT や MRI など多種多様な医用機器から得られる様々な画像データの空間、時間、そして機能要素病理に関する多元情報をシームレスに統合し、それを外科診断や治療に適用することを目指している。画像データへのバイオマーカーの導入など高い有用性が期待されることから、研究の必要性及び妥当性は認められる。また、研究期間は妥当であり、社会的発展性として示されている内容についても十分理解できる。</p> <p>一方、各計画研究は、それぞれの対象とする研究項目における過去の研究を発展させた内容が中心となっており、領域構成全体としての新規性は乏しい。このため、適切な公募研究を組み入れることによって、計画研究の進展を加速させる領域運営、研究者の増強、大量の画像データを処理するための技法開発、さらには学理の追求を目的とした基礎研究を行う体制の更なる充実が求められる。</p>